

参考資料1-1 0 歳から石綿ばく露を受けた地域の中皮腫および肺がんの発症年齢（潜伏期）の検討

0 歳から石綿ばく露を受け石綿の種類がクロシドライトである日本の地域としては尼崎市のクボタ工場周囲が該当します。文京区の保育園の石綿ばく露の健康対策としては、尼崎市の工場周囲の健康被害の情報は参考になると考えられます。1950 年代から 1970 年代に住民へのクロシドライトの環境ばく露があった尼崎の住民健康被害の調査は、潜伏期や健康対策案と参考になると思われます。（参考資料1 クボタ見舞金・弔慰金・救済金 書類提出者発行 尼崎労働者安全衛生センター 25.6.28 ）

同資料によると「書類提出人数は、2025 年 6 月 15 日現在で 434 人（前年比 12 人増、うち女性 194 人、45%。また療養中の方は 24 人。肺がんは 16 人、石綿肺 1 人）。クボタ旧神崎工場での労災認定は 209 人（うち中皮腫 91 人、肺がん 65 人、療養中 13 人、2024 年末現在。これ以外に構内下請けの労災補償決定 22 人（S 鉄工所含む）を認識している。」とされています。

同資料Ⅱページの、工場周囲住民の中皮腫は、「環境省環境再生保全機構で中皮腫として認定され、1 年以上クボタ工場から 1.5 km 以内に居住していた」として、「(株) クボタが「見舞金・弔慰金、救済金を支払った方」の死亡年齢別データが記載されています。60 台が男女ともに多く、70 代、50 代と続きます。中皮腫の男性で 39 歳以下は 5 名のみで 30 歳以下は 2 名で 28 歳（1978 年）、27 歳（1986 年）、中皮腫の女性で 39 歳以下は 1 名で 30 歳以下は 1 名 26 歳（1987 年）です。中皮腫の潜伏期の最低年数は 26～27 年で、30 年以下や 40 年以下も極めてまれであることがわかります。

同資料Ⅱページの、石綿肺がんは「 」で表示されており、男性は 9 名でカッコ内は年齢です。「82」（2009）、「78」（2015）、「92」（2018）、「95」（2019）、「88」（2020）、「66」（2021）、「70」（2022）、「75」（2022）、「82」（2023）。66 歳から～95 歳と高齢となっています。女性は 6 名でカッコ内は年齢です。「71」（2004）、「74」（2008）、「67」（2012）、「78」（2012）、「95」（2016）、「70」（2017）です。女性も。67 歳から～95 歳と高齢となっています。肺がんの潜伏期の最低年数は 66～67 年で、40 年以下もなく 50 年以上が多い結果となっています。なお、資料 1 の発行団体に 2026 年 6 月段階で、「尼崎の工場に起因したと疑われる 40 歳以下の肺がんの相談はなかったと記憶している」と回答されています（分担：名取 ）